



こんにちは、久世児童館です。子育てについてお困りのことや対応の仕方などのご質問をお寄せください。当児童館がでんしょばとになり、専門の方（子育てアドバイザー、保健師、保育士など）にお聞きし、その答えをまとめ、おたよりに掲載して皆さまにお伝えします。ご質問のある方は、HPのPDF、館内にあります質問用紙にご記入の上、館内外ポストまたはFAXでお寄せください。（お電話・メールでの相談は受け付けておりません）

★ご相談内容 ★★こうなってほしい ☆☆☆回答、アドバイス



【きょうだい関係】

〇母より（長男 中1 次男小5 長女小3）

★ きょうだいが多いため、けんかが多く、特に次男（小5）、長女（小3）の仲が悪い。喧嘩をしてひどい時には止めるが、対処に悩む。

同じく長男（中1）が次男（小5）に暴力的で対処が難しい。次男もやり返したり、けんかをふっかけるので対応に困る。

★★ 喧嘩の回数が減ってほしい。（できれば）

☆ きょうだい喧嘩は、子どもが社会性を身につける絶好のチャンスです。我慢や妥協、なんでも思い通りにはいかない理不尽さを学ぶことで、生きていく上で必要な基本的なコミュニケーション能力を自然に身につけられるのも、きょうだい喧嘩の大きなメリットです。親は、誰が悪いと決めつけずなりゆきを見守るのが大切だと思います。

ただし、怪我の危険がある状況を「放置」するのはNGです。「怪我を予防するためには喧嘩をさせないようにする」のではなく、『凶器となるものを持ち出さない』『噛まない』『顔は叩かない』など、『ここまではしてもいいけど、ここからはダメ』という喧嘩時のルールを子どもたちと一緒に決めておくといいと思います。そして、子どもたちが喧嘩のルールを破った場合にのみ親が参入し、厳しく叱る。上の子であれ下の子であれ、ひいきはしません。年齢は関係なく一貫した態度で臨んでください

きょうだい喧嘩のメリットが大きいと知っていても、実際にそばにいる親御さんは大変ですよ。時には感情のまま介入してしまうのも仕方ありません。親御さんの感情の揺れから子どもは人の感情を学ぶこともありますので、無理のない範囲で対応してみてくださいね。（保健師）

☆ 家族会議を開くのはいかがでしょう？きょうだい喧嘩を家族の問題として、最初は5～10分くらいでも。進行役はお母さん。議題は「喧嘩が始まると嫌な気持ちになる。喧嘩にならない方法はないか」とお母さんが困っている気持ちを伝えます。1歳と2歳のお子さんは難しいと思いますが、できるだけ家族参加で。進行役は意見を述べません。質問は良いです。記録ノートを作って、進行役がお母さんなら書記も兼ねて。何か良い方法が見つければ一度やってみて、うまくいかなければ、また会議を開く。その繰り返しで、お子さん自身で気づいたり、考えることができるのではないのでしょうか。会議に慣れてこられたら進行役も交代できますね。親が考え、指示するより、自分たちでルールを考えた方が、素直に行動できることも多いでしょう。（子育てアドバイザー）